

時期	2年A巡	単元	学科	教科名	電装品整備1	
科目	自動車整備	教科書等 持参品	2級ガソリン自動車 エンジン編		発行日	2023.4.1
			2級ジーゼル自動車 エンジン編			
総時限	8時限		電装品構造		教科担当	川田
必要時限	8時限		電卓			

**指導教員の実務経験**

**該当**

非該当

自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の構造、作動について指導する。

**教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）**

- ①自動車のバッテリーの構造、機能、整備を理解する。
- ②オームの法則及び計算方法の復習する。

**授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）**

- ①自動車のバッテリーの種類、特性が理解出来る。
- ②バッテリーの構造、機能、整備が理解出来る。
- ③オームの法則に基づき電気回路の計算が理解できる。

**学習評価（期末試験での主な試験項目）**

- 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。  
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
  - ①バッテリーの機能、整備。
  - ②電気回路の計算問題。

**準備学習**

事前に一年B、C巡電装品構造の内容を確認し、バッテリーの構造、機能等を復習する。  
次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。



自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科		2023年		授業計画	
時期	2年B巡	単元	学科	教科名	電装品整備2
科目	自動車整備	教科書等 持参品	2級ガソリン自動車 エンジン編	発行日	2023.4.1
総時限	6時間		2級ジーゼル自動車 エンジン編		教科担当
必要時限	6時間		2級ガソリンジーゼル自動車 シャシ編/電卓		
<b>指導教員の実務経験</b> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin: 0 5px;">該当</div> 非該当 自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の構造、作動について指導する。					
<b>教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）</b> ①自動車の充電装置の概要、機能、制御について理解する。 ②充電装置の整備を理解する。 ③計器装置の構造、機能を理解する。 ④警報装置の構造、機能を理解する。					
<b>授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）</b> ①励磁式オルタネータの機能が理解出来る。 ②ボルテージレギュレータの機能、制御が理解出来る。 ③充電装置の整備が理解出来る。 ④計器装置の構成部品、名称、役割を覚え、構造、機能が理解出来る。 ⑤警報装置の構成部品、名称、役割を覚え、構造、機能が理解出来る。					
<b>学習評価（期末試験での主な試験項目）</b> 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。 2) 出題試験項目 ①充電装置の構造、機能、整備。 ②計器装置の構造、機能。 ③警報装置の構造、機能。 ④電気回路計算問題。					
<b>準備学習</b> 事前に一年C、D巡電装品構造の内容を確認し、充電装置、計器装置の構造、機能等を復習する。 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。					



自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科		2023年		授業計画		
時期	電装品整備C	単元	学科	教科名	電装品整備3	
科目	自動車整備	教科書等 持参品	2級ガソリン・ゼル自動車 シャシ編		発行日	2023.4.1
総時限	6時限		電卓		教科担当	川田
必要時限	6時限					
<b>指導教員の実務経験</b> <span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">該当</span> 非該当 自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の構造、作動について指導する。						
<b>教科の目的</b> (この学科の狙い、目的を明確に記入) ① 自動車の電気配線の構造、機能を理解する。 ② 自動車の安全装置及び付属装置を理解する。 ③ 自動車の安全装置及び付属装置の整備を理解する。						
<b>授業の到達目標</b> (何を理解し何が出来るようになるのか) ① CAN通信システムの構造、機能、配線図の見方が理解出来る。 ② SRSエアバッグシステムの構成部品、名称、役割を覚え、構造、機能が理解出来る。 ③ プリテンションシートベルトの構成部品、名称、役割を覚え、構造、機能が理解出来る。 ④ カーナビゲーションシステムの構成部品、名称、役割を覚え、構造、機能が理解出来る。 ⑤ SRSエアバッグシステムの整備が理解出来る。						
<b>学習評価</b> (期末試験での主な試験項目) 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。 2) 出題試験項目 ① 電気配線 (CAN通信) の構造、機能。 ② 安全装置の構造、機能、整備。 ③ 付属装置の構造、機能、整備。 ④ 電気回路計算問題。						
<b>準備学習</b> 今回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。						

